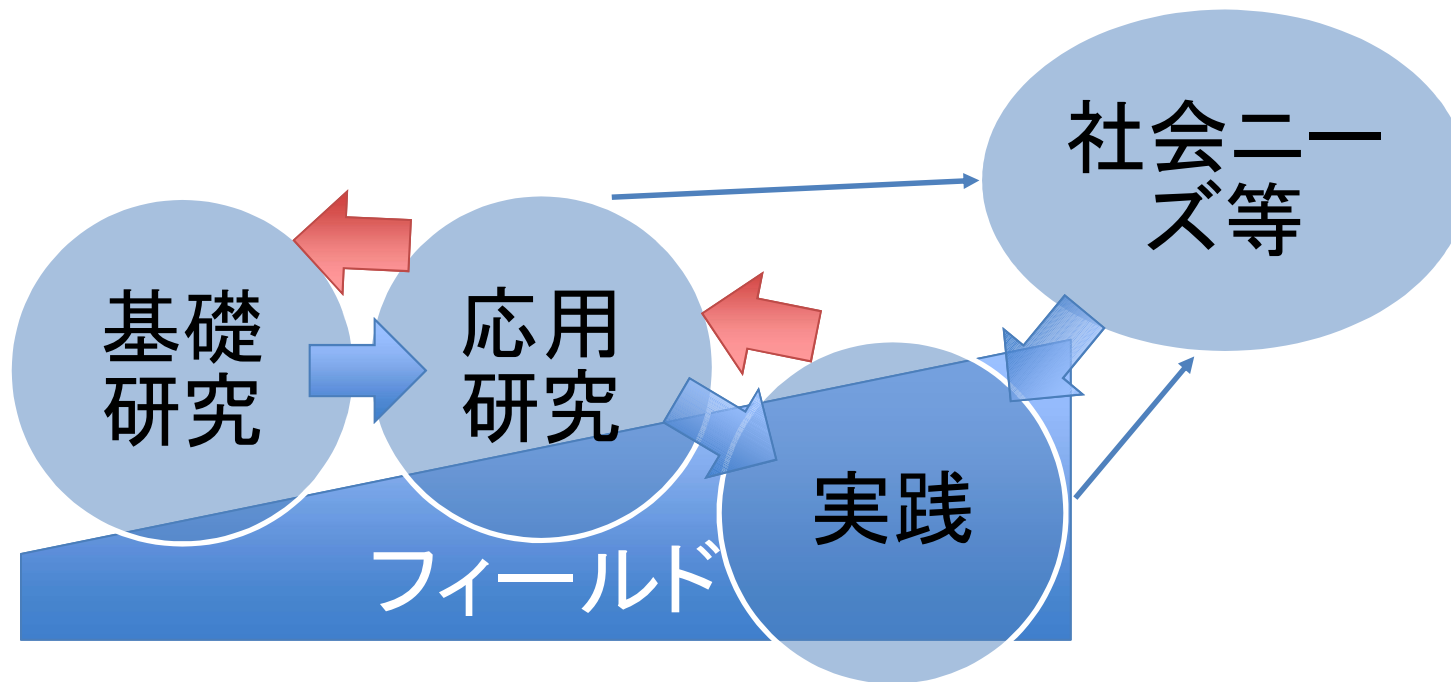


オーガナイズドセッション(OS)2

河川環境にかかわる

基礎・応用研究と河川管理の**実務**をつなぐ



オーガナイザー：椿涼太，堂藺俊多，堀江克也

セッションの流れ

- 14:30～ 趣旨説明
- 14:45～16:00 講演・話題提供
 - 東京大学 池内幸司
 - 埼玉大学 田中規夫
 - 埼玉大学 浅枝 隆
 - いであ 堀江克也
- 16:00～16:30 パネル討論

多自然川づくりの推進

- 「河川法改正20年 多自然川づくり推進委員会」提言
 - － 多自然川づくりの推進，全国への拡大，多自然川づくりの基本方針の通達と展開
 - － これらの取り組みを振り返り，今後の方向性を検討し，今後の多自然川づくりの方向性および具体的な対応方針について提言をまとめている。

- 基礎研究成果を集約し**実務への展開可能性に光り**をあてる

3000 浅枝ら
樹林帯

3114 矢野ら
流況計算～

2999 田中ら
境界層水理学

礫・大礫

砂・小礫

干潮・汽水

- 基礎研究とのつながり**を意識した応用研究

3050 巖島ら
河川汽水域

3168 田中
筑後川～

3097 高橋ら
鶴見川

3130 岡田ら
四万十川～アユ

3172 山本ら
堤防植生～

- 具体事例を基点としつつ課題解決のための**基礎研究の展開**を希求する

3046 岡田ら
四万十川～ノリ

3175 上杉ら
氾濫原～掘削

2987 安田
石組み～

3143 安井ら
阿賀川～

3181 島谷
環境防災～ Eco-DRR

3027 池内
河川行政～

鶴見川における多自然川づくりについて 高橋岩夫・田原敏明・永田雅文 河川環境管理シート, 河川環境経年変化シート をつかって, 生息場や確認種の変化を可視化

河川環境管理シート		2-1h	1-0h	0-1h	1-2h	2-3h	3-4h	4-5h	5-6h	6-7h	7-8h	8-9h	9-10h	10-11h	11-12h	12-13h	13-14h	14-15h
河川環境経年変化シート		河川環境経年変化シート																
平成28年度	自然環境の現状と 代表地点	代表地点	代表地点															
	河川環境管理シート	河川環境管理シート	河川環境管理シート															
	河川環境経年変化シート	河川環境経年変化シート	河川環境経年変化シート															
	河川環境管理シート	河川環境管理シート	河川環境管理シート															
	河川環境経年変化シート	河川環境経年変化シート	河川環境経年変化シート															
	河川環境管理シート	河川環境管理シート	河川環境管理シート															
	河川環境経年変化シート	河川環境経年変化シート	河川環境経年変化シート															
	河川環境管理シート	河川環境管理シート	河川環境管理シート															
	河川環境経年変化シート	河川環境経年変化シート	河川環境経年変化シート															
	河川環境管理シート	河川環境管理シート	河川環境管理シート															

※保全再生目標種の確認状況は、試行的に水域生物種を対象に整理している。

図-11 河川環境経年変化シート

河川汽水域における環境に配慮した
 河道設計法確立のための
 河道特性と貝類相の関係に関する研究
 巖島 怜・吉川寛朗・森田 海・島谷幸宏
 貝類の種数・個体数と蛇行度や比高差
 などの河道地形との関係を整理
 →貝類の種数・個体数を増やす方策

汽水域、都市河川などの多自然川づくりの基本的な考え方がまとめられていない分野などについて、これまでの取り組みを踏まえ技術・知見をとりまとめることが必要である。

四万十川における流下能力確保とスジアオノリの生育環境創出を両立させる砂州掘削方法の検討
 岡田 将治・中平 歩・張 浩・松岡 直明
 スジアオノリの生育
 →一定範囲の河床高の面積を確保
 →その面積が持続的かどうかを検討

背景図: Google Earth

流況計算と河川水辺の国勢調査結果を用いた
交互砂州の発生領域区分と魚類生息環境の関係
矢野雅昭・布川雅典・谷瀬敦・新目竜一
→マクロ・長期・ポテンシャル評価に有効？

背景図: Google Earth

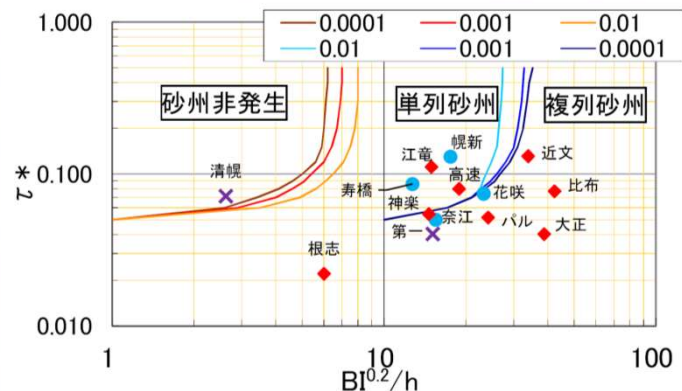


図-1 河床材料の粒径を仮定した場合の各調査地区の交互砂州の形成領域区分³⁾上での分布。◆および●は、平成20～26年の航空写真により、それぞれ複列の流路および単列砂州を確認し、×は砂州がないことを確認した地点であることを示す。



図-9 河床勾配1/600以上の調査地区の $BI^{0.2}/H$ 平均値とウグイ稚魚・成魚の生息環境の平均合成適性値の関係

筑後川水系中流域の河川合流部における河床ハビタットの出現特性と魚類の生息状況

田中亘

合流部⇔ハビタット⇔ 魚類種

合流部→流況の組み合わせ・治水上の難しさ
→手をどういれていくか？

氾濫原依存種保全の観点からみた

高水敷緩傾斜掘削の評価-菊池川を事例として-

上杉幸輔・伊東麗子・皆川朋子

エコトーン→氾濫原依存の植生・魚類

・外来植物の繁茂

→エコトーンの持続性・種構成のコントロール

背景図: Google Earth

石組みを利用した減勢工に関する実験から
実務への適用とその成果

安田陽一

建築・造園でなく水理学的な石組み
石組みによる減勢池および帯工の設置

石もグリーンインフラ？

阿賀川における礫河原再生事業と
自然環境の復元に関する一考察

安井辰弥・見田弘幸・原俊彦・古瀬修・高水克哉・若狭甫・新井智之

礫河原再生事業→在来植物カワラハハコ,
魚類イトヨ

中規模出水で維持, 大規模出水で陸域化・
樹林化→モニタリングや追加掘削(管理が必要)

現場で具体的に環境が
改善されたという成果の
発表→他の河川でも適
用しやすい。→今後も継
続的に投稿いただきたい

四万十川におけるアユの産卵に適した
環境場の抽出と出水後の予測に関する研究

岡田将治・松岡直明・張浩

河床の貫入度+水深+流速→アユ産卵場
掘削・置き土の影響評価

環境防災統合論

多自然川づくりからEco-DRRへ

島谷幸宏

河川技術論文集をベースとしたレビュー、
防災、社会・地域の開発・発展の持続性、
生態系の持続性、
何が主で、何が従か？
場面により使い分け？

樹林帯の科学と工学：

その評価と制御・利活用

浅枝隆・田中規夫

・河道内樹林化の仕組みとモデリング
→植生科学と河川工学
・生態系を基盤とした災害リスク軽減
(Eco-DRR)とバイオシールド
→技術論としてのEco-DRR

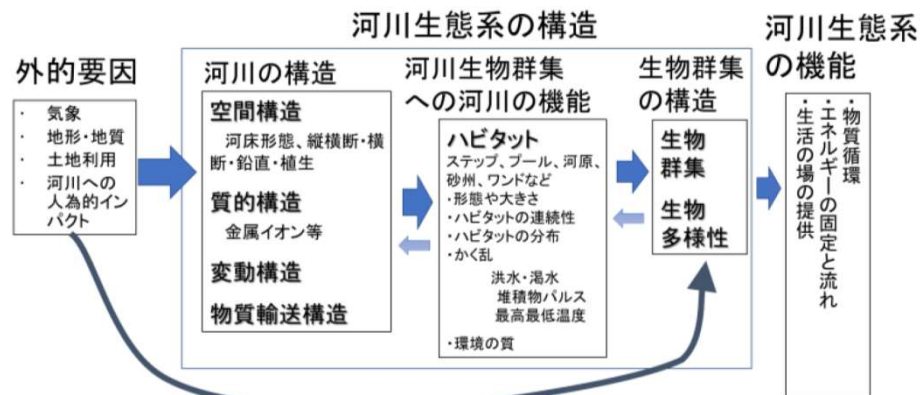


図 3 河川の構造と河川生態系の関係

河川行政における自然環境の保全・
復元に関する政策の実装過程の解明
と今後の課題

池内幸司

政策の実装過程の解明

今後の課題⇔

多自然川づくり推進委員会・提言にも